

～ 須佐中・越ヶ浜小で藻場の授業を行いました。～

9月3日に萩市立須佐中学校で、また、10月22日に萩市立越ヶ浜小学校で「藻場」に関する授業を行いましたので、そのときの様子をお知らせします。

○須佐中学校（9月3日）



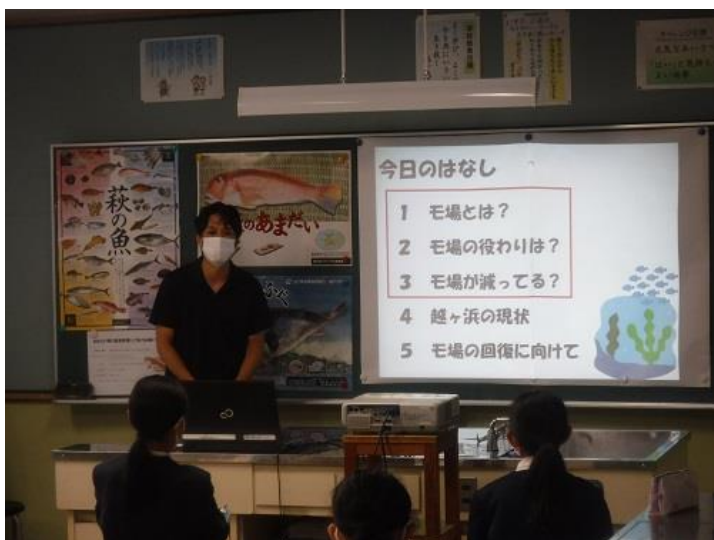
○須佐中学校の全校生徒を対象に、阿武研究員が「海藻の役割と藻場の造成について」、南野企画情報室長が「山口県の漁業の概要と水産研究センターの役割について」講演しました。



○阿武研究員の講演のなかで、海藻由来のアルギン酸ナトリウムを使って、生徒さんに人工イクラの製造を体験してもらいました。

講演後、生徒さんから、「海藻から身近にあるいろいろなものが作られているのを知ってびっくりした。」などの感想がありました。

○越ヶ浜小学校（10月22日）



○越ヶ浜小学校の5・6年生を対象に、阿武研究員から藻場の役割や藻場が減少していることについて、講演を行いました。



○水研センターが設置したタッチングプールも大好評でした。

○水研センターのほかに、山口県漁協越ヶ浜支店木島支店長から地元越ヶ浜の漁業者が営んでいる漁業種類や漁業者自身に取り組んでいる資源管理の話について、また、地元漁業者の楢本さんが越ヶ浜周辺の藻場の状況などについて説明され、生徒さんたちからもたくさんの質問がありました。

**須佐中学校・越ヶ浜小学校のみなさん、熱心に聞いてくれて、ありがとうございました！**